



認定看護師だより

～臨床ラダー別研修報告～

教育委員会と認定看護師会で始まったラダー別研修会も、6月で1年が過ぎようとしています。また、ランチョンセミナーは初の試みで、勤務の都合などで参加できない方もおられたかと思います。そこで、今回はラダー別研修の主な内容や参加者の貴重なご意見を掲載いたします。



がん化学療法看護認定看護師 山崎 文光子

臨床ラダーⅠレベル

ラダーⅡは廣川 CN が担当です。



上期 「抗がん剤の暴露対策」

がん化学療法薬を安全に取り扱う必要性和暴露予防方法について

下期 「骨髄抑制」

骨髄抑制の起こりやすい時期や必要なケア、発熱性好中球減少症 (FN) について

参加者のご意見

- 内服抗がん剤も同じように暴露対策が必要だと初めて知った。
- 抗がん剤の暴露がミキシング以外でも様々な場面で多くあることが理解出来た。
- 在宅治療が増えているなか、家族の暴露も気になりました。
- 好中球減少についてセルフケア指導などに再確認した。
- 骨髄抑制のデータの見方、FNのおきやすい因子が理解できた。



臨床ラダーⅠレベル

上期 「緩和ケア」

緩和ケアの概念、トータルペインの捉え方、チームアプローチ

下期 「がん告知を受けた患者への看護ケア」

がんと診断された患者の心理、受容プロセス、意思決定支援について

様々な痛みを知り、ケアに繋がっていきましょう

参加者のご意見

- 患者が訴える疼痛の背景には、様々な理由があると知ることができました。患者の話をじっくり聞く必要があると思いました。
- 身体的苦痛は、他の痛みより軽減しやすいと思う。まず看護師はそこを見逃さないことが大切と感じた。
- 傾聴や共感などもっと詳しく勉強して実践してみようと思います。



緩和ケア認定看護師 神田 尚代

臨床ラダーⅡレベル

上期 「がん性疼痛」

トータルペインを捉えたがんの痛みの特徴や、痛みの評価からWHOの原則に従った医療用麻薬導入時の看護ケアについて

下期 「終末期患者の特徴と看護ケア」

終末期の身体症状、精神的苦痛の特徴と看護ケア
グリーフケア、アドバンス・ケア・プランニング

適切な評価ツールを使いアセスメントする力を高めたいと思っています

参加者のご意見

- 忙しくても、痛みの表現がない患者さんの話を聞いて寄り添う姿勢で看護をしたい。スケール等使用してアセスメント力を高め、必要時相談できるようにしたいです。
- 声掛けの仕方が具体的によくわかりました。患者さんからみて、話を聞いてくれそうな看護師にならないといけなかったと思いました。

